

ビタミンBook

発行:笠田高等学校図書館

5月

3号

2025.5



5月のさわやかな季節から、だんだん蒸し暑くなってきました。

さて、暑くなってくると水分補給に飲むペットボトルに入ったお茶は手頃で飲みやすいです。

でも、お茶の本来のおいしさを味わうには、茶葉からいれるお茶が味わい深いです。4月下旬から6月初旬にかけて新芽の茶摘みで収穫されるのが新茶と言われます。お茶には煎茶、玉露、抹茶、茎茶、玄米茶など、さまざまな種類があります。4月下旬から5月初旬に摘んだ茶葉から作られる一番茶は、特に甘みの強いお茶だとか。お気に入りのお菓子とともに自分でいれたお茶を味わってみては。そして、お茶のお供に『雨にもまけず粗茶一服』松村栄子(著)の本もごいっしょに(*^_^*)



図書館からのお知らせ

みんなでワイワイ語りましょう



読書会のご案内

日時 令和7年5月23日(金)放課後

場所 笠田高校 図書館

【内容】「よんで よんでこの本おもしろいんだよー！！」

1 おすすめする本の紹介をします

紹介する本は漫画以外の本で

映画やドラマになった本 趣味の本 絵本 などなど

2 紹介した本のPOPをつくります

文字だけでも 絵を描いても

【持ってくるもの】 自分が紹介する本

参加賞あります!(^^)!





♪♪新しく入った本がいっぱい♪



岩波新書 2055

『世界の貧困に挑む』

慎泰俊(著)【338.7】



岩波新書 2056

『新版 学校の戦後史』

木村元(著)【372.107】

岩波新書 2057

『歴史のなかの貨幣』

黒田明伸(著)【337.22】

岩波新書 2058

『東京美術学校物語』

新関公子(著)【377.28】

岩波新書 2059

『ヒトとヒグマ』

増田隆一(著)【489.57】

岩波ジュニア新書 997

『もしもハチがいなくなったら?』

横井智之(著)

小さなハチが花の上でもぞもぞと動いていることがあります。この小さなハチは「ハナバチ」で花粉を花から花へと運ぶ送粉者です。道端や草地、などで花を咲かせる野生植物にとってハナバチや花粉を運ぶ昆虫はなくてはならない存在です。

【486.7】

岩波ジュニア新書 999

『カラー版本ができるまで増補版』

岩波書店編集部(編)【022.7】

岩波ジュニア新書 998

『てっぱく発鉄道物語』

荒木文宏・奥原哲志(著)

1872年に新橋～横浜間で鉄道が開業してから150年あまり経ちます。

【686.21】



岩波新書 2060

『緑地と文化』

石川幹子(著)【518.85】

岩波新書 2061

『ブラック・カルチャー』

中村隆之(著)【764.7】

岩波新書 2062

『ラジオの光と闇』

高橋源一郎(著)【699.67】

岩波新書 2063

『ケアと編集』

白石正明(著)【369.04】



続きの漫画入りました



『となりの猫と恋知らず①～④』

あきのこ(著)【726.1】

『なのに、千輝くんが甘すぎる⑫』

亜南くじら(著) 【726.1】

『怪物事変③』

藍本松(著)【726.1】

『不滅のあなたへ24』

大今良時(著)【726.1】

『税金で買った本⑤』

ずいの(原作)/系山岡(漫画)

【726.1】

『バトルスタディーズ 44』

なきぼくろ(著)【726.1】



